

育苗器の接続可能な電源方式について

弊社の育苗器は型式によって接続可能な電源方式が異なりますので、下記の表を参考に電源の供給を行ってください。出荷時点では三相200V用の電源プラグが接続されています。

三相200V以外の電源を使用される場合は、下記の表を参考にプラグ変更と、必要に応じてヒータの端子板の切り替えと電子サーモの電圧切り替えを行ってからご使用ください。

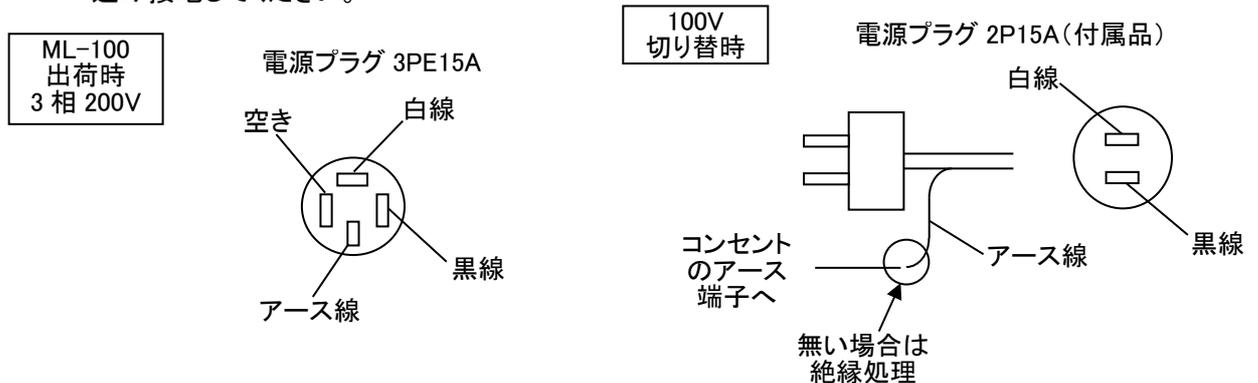
タイプ	型式名	電子サーモ型式	単相100V	単相200V	三相200V	ヒータと電子サーモの電圧切替
棚・積重ね 兼用	KBS-N56LAB	ML-100	○(注1)	○(注2)	◎	単相100V使用時は200V→100Vに切替
	KBSN-72LAB	ML-100	○(注1)	○(注2)	◎	単相100V使用時は200V→100Vに切替
	KBS-N84LAB	ML-100	○(注1)	○(注2)	◎	単相100V使用時は200V→100Vに切替
	KBS-N108LAB	ML-100	○(注1)	○(注2)	◎	単相100V使用時は200V→100Vに切替
	KBS-N126LAB	ML-100	○(注1)	○(注2)	◎	単相100V使用時は200V→100Vに切替
	KBS-N168LAB	ML-200	×	○(注3)	◎	200V 固定
積重ね専用	KT-N120LAB	ML-100	○(注1)	○(注2)	◎	単相100V使用時は200V→100Vに切替
	KT-N180LAB	ML-100	○(注1)	○(注2)	◎	単相100V使用時は200V→100Vに切替
	KT-N240LAB	ML-100	○(注1)	○(注2)	◎	単相100V使用時は200V→100Vに切替
	KT-N360LAB	ML-200	×	○(注3)	◎	200V 固定
	KT-N480LAB	ML-200	×	○(注3)	◎	200V 固定
	KT-N600LAB	ML-300	×	×	◎	200V 固定
	KT-N720LAB	ML-300	×	×	◎	200V 固定
	KT-N1000LAB	ML-400	×	×	◎	200V 固定
フォークリフト	KL-N500LAP	ML-200	×	○(注3)	◎	200V 固定
	KL-N750LAP	ML-300	×	×	◎	200V 固定
	KL-N1000LAP	ML-400	×	×	◎	200V 固定

<凡例> ◎:ご購入の状態のまま使用できます。

○:電源プラグを交換することにより使用できます。

×:対応不可能な電源方式です。

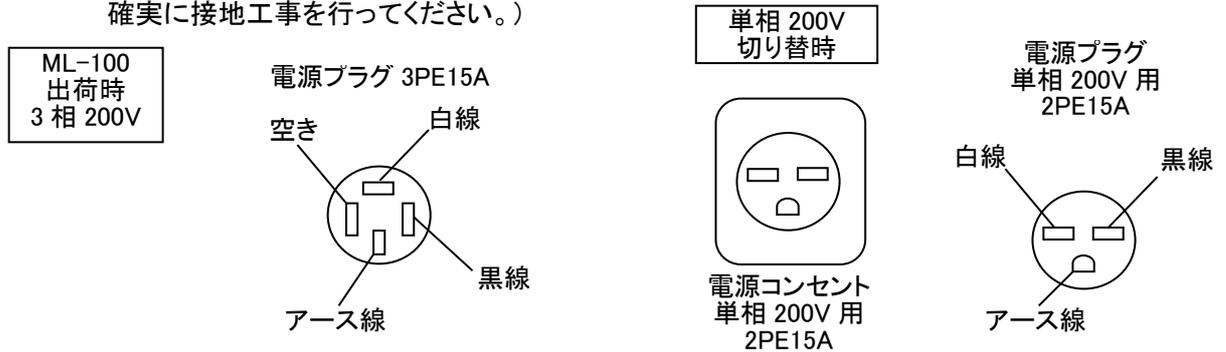
(注1) 付属の100V用の電源プラグに交換してください。黒色と白色の電線を電源プラグの端子2カ所にそれぞれ接続します。緑/黄色(アース線)はプラグの外に引き出します。電源コンセントにアース端子が有る場合は接続します。無い場合は絶縁処理を行い、ヒータについているアース棒を土中に打ち込み接地してください。



(注2) 単相200V用(定格15A以上)のアース付電源プラグを別途用意してください。

黒色、白色、緑/黄色(アース線)の電線を電源プラグの端子3カ所にそれぞれに接続します。

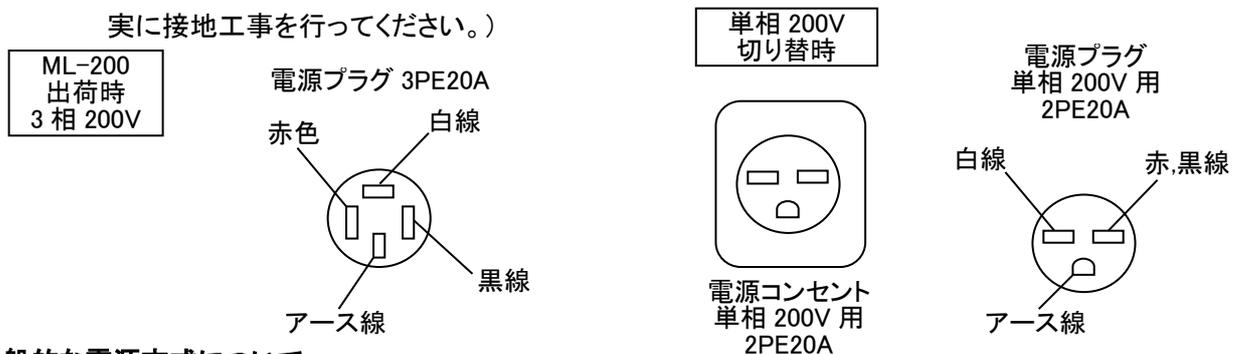
(電源側のコンセントもアース付電源プラグに対応したアース付コンセントを用意し、アース端子は確実に接地工事を行ってください。)



(注3) 単相200V用(定格20A以上)のアース付電源プラグを別途用意してください。

赤色と黒色の電線を電源プラグの片側の端子に接続(共はさみします)。白色の電線をもう一方へ接続します。緑/黄色(アース線)は電源プラグのアース端子接続します。

(電源側のコンセントもアース付電源プラグに対応したアース付コンセントを用意し、アース線は確実に接地工事を行ってください。)



一般的な電源方式について

- ① **三相3線式** 三相200Vを供給する動力用の電源です。
農業用や工業用で一般的に使用される電源方式で、電線は黒色-白色-赤色の電線が3本+緑色(アース線)の計4本線で構成されます。
- ② **単相3線式** 単相200Vと単相100Vの両方が供給できる電源です。
通常、積算電力計からメインブレーカーまでの屋内配線は、黒色-白色-赤白の電線3本で配線され、メインブレーカー以降は、赤色-黒色の配線で単相200V、赤色-白色または黒色-白色の配線で単相100Vで個々の配電ブレーカーに配電されます。(赤:第1相 白:中性相 黒:第2層)
- ③ **単相2線式** 単相100Vを供給する電源です。
一般家庭や事務所等の電源として一般的に普及している電源方式です。黒色と白色の2本の電線で構成されます。

※電圧切り替えが適正でない場合、下記のような問題が発生しますので確実にこなってください。

●電子サーモの場合

電源200Vに電子サーモ100Vを接続 電子サーモが破損するおそれがあります。

電源100Vに電子サーモ200Vを接続 動作が不安定になります。

●ヒータの場合

電源200Vにヒータ100Vを接続 大きな電流が流れ、機器の破損及び火災のおそれがあります。

電源100Vにヒータ200Vを接続 発熱量が足りず温度が上がりにません。